

## 令和4年度 第4回学校関係者評価委員会議事録

開催日時	令和5年3月27日(木) 18:00~18:50
開催場所	宮崎リハビリテーション学院 会議室
参加委員 (4名)	中田 洋輔 (職能団体代表)、川越 康史 (関係業界代表)、 菅原 展寿 (卒業生及び関係業界代表)、岩城 次明 (保護者代表)
委員以外	鶴田 和仁 (学院長)、東 明 (副学院長)、高月 航 (事務長兼学科長)
議題	1. 教員自己評価アンケート集計結果内容について (意見・質問・改善策等) 2. 学校関係者評価結果とその公表について
内容	<p>1. 学院長の挨拶</p> <p>2. 委員長・議長の選任 互選により川越委員が委員長となり、本会の議長を務め議事が進行された。</p> <p>3. 第1議題</p> <p>①教育理念・目的・人材育成等について ・教育理念、アドミッションポリシーディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、カリキュラムツリーについて明確に定められており、ホームページ等において学校の教育特色を明確にする活動を進めてもらいたい。</p> <p>②学院運営について ・専任教員の要件が厳しくなったため、法人内でリハ職管理部門を設置するなどして指導者、教育者の育成体制を整備していく必要があるのではないか。 ・ICTなどを活用したシステムを構築して業務の効率化を進めてはどうか。</p> <p>③教育活動について ・国家試験に直結するカリキュラムをすすめ、また授業参観(懇談会を含む)を導入し、保護者への学校の取り組みについて説明機会を持つことで学生のフォローアップ体制を構築することで教育活動の推進を図ってもらいたい。</p> <p>④学修成果について ・定期的な個別面談、カリキュラム外での国家試験対策講義の実施、学校独自の就職説明会を開催するなど学習の成果の向上を図る取り組みが行われている。また卒業生への求人情報提供、図書閲覧などについて適宜、適切に行われている。 課題としては卒業生の社会活動の情報収集の方策を検討してもらいたい。</p> <p>⑤学生支援について ・まずは学生の現状把握を行うためには、保護者との情報交換が必要と思われ、学習成果を上げるために、生活面からのフォローアップは重要であるため積極的に取り組む必要がある。</p>

⑥教育環境について

・今年度もコロナ禍であったが、病院が設置母体という事を活かし、指定規則で定められた臨床での実習以外を加えたカリキュラムとなっている。

実習指導者の要件の厳格化、コロナ禍ということもあり実習施設の確保が厳しくなってきたようなので実習指導者の育成に力を入れていってほしい。

⑦学生募集について

・募集効果を高めるためオープンキャンパスにおいて教員が思考を凝らしたイベント内容などの検討を進めると良いのではないかと。

⑧財務について

・適切かつ安定した運営が行われている。

⑨法令等の遵守について

・法令や設置基準を遵守しており問題はない。

⑩社会貢献・地域貢献について

・R4 年度は専任教員の宮崎市介護予防事業への協力および学生の障がい者スポーツ事業へのボランティア参加の実績があげられる。コロナ禍であったため活動が縮小していたようであるが、正常化した場合はより多くの地域活動に取り組んでいただきたい。

4. 第2議題

・学校関係者評価結果については、(別添1)の通りとし、議事録とともにホームページにて公表することが了承された。

5. 閉会

滞りなく議事が進行し終了した。

令和 5 年 4 月 3 日

議事録署名人

川越 康史

